



## ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ： <http://www.bosch.co.jp>  
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール  
**0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前 9:00～午後 5:30)

\* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161  
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用  
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 55P (2019.05)

## レーザー距離計 GLM 40 型



# BOSCH

### 取扱説明書（保証書）

このたびは、弊社レーザー距離計をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。



- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

# 目次

● <b>安全上のご注意</b>	
警告表示の区分 .....	2
● <b>本製品について</b>	
用 途 .....	7
各部の名称 .....	7
仕 様 .....	9
● <b>使い方</b>	
作業前の準備をする .....	11
作業する .....	14
レーザー距離計の精度チェック .....	35
● <b>困ったときは</b>	
故障かな?と思ったら .....	36
修理を依頼するときは .....	38
● <b>お手入れと保管</b>	
廃 棄 .....	40

# 安全上のご注意

- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

## 警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



- ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。



## 警告

1. レーザー光を直接のぞいたり、人や動物に向けたりしないでください。
  - ◆ 本機はレーザークラス 2 (EN60825-1 準拠) のレーザー光を発光します。レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。
2. 取扱説明書に記載された使用方法に従って使用してください。
3. 取扱説明書およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアクセサリー以外は使用しないでください。
4. レーザーメガネを保護メガネとして使用しないでください。
  - ◆ レーザーメガネはレーザー光の視認を助けるものであり、レーザー光から目を保護するものではありません。
5. レーザーメガネをサングラスとして使用したり、道路交通上で着用したりしないでください。
  - ◆ レーザーメガネでは紫外線からの完全な保護はできません。またレーザーメガネは色の認識力を低下させます。
6. 本機を分解・改造しないでください。

7. 測定を行う場合は安全な測定場所を確保してください。
  - ◆ 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では使用しないでください。本機から火花が発生し、粉じんや蒸気に引火する恐れがあります。
8. レーザー光が他人や自分に向いていないことを確かめて、本機を設置してください。
  - ◆ レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。
9. レーザー光が自分の目に当たったときは、すぐに目を閉じ、レーザー光から顔を背けてください。
  - ◆ レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。
10. 電源を“ON”にしたまま放置しないでください。
  - ◆ レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。
11. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、本機に破損や亀裂、変形がないことをよく確認してください。

12. 使用中に異常が疑われるときには、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検を依頼してください。



## 注 意

1. 使用前に、本機に損傷がないか点検してください。
  - ◆ 使用前に、本機に損傷がないか十分に点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
2. 無理な姿勢で作業しないでください。
  - ◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
3. 子供を近づけないでください。
  - ◆ 目の届かない場所で子供に本機を使用させないでください。
4. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ◆ 子供や製品知識を持たない方の手の届かない安全な所、または鍵の掛かる所に保管してください。
5. 点検は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。
  - ◆ 点検の知識や技術のない方が点検しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

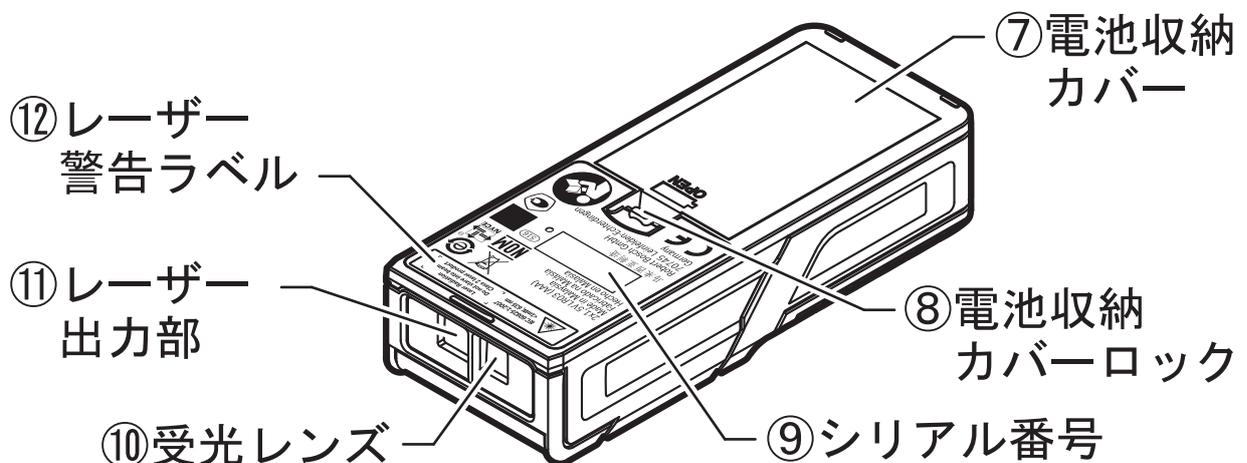
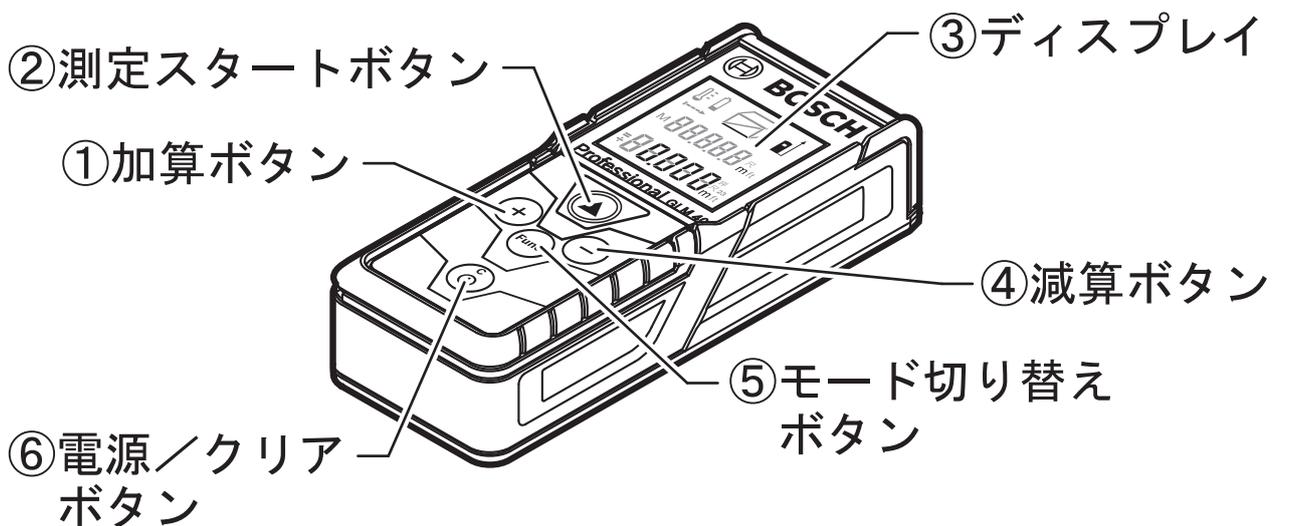
**この取扱説明書は、大切に保管してください。**

# 本製品について

## 用途

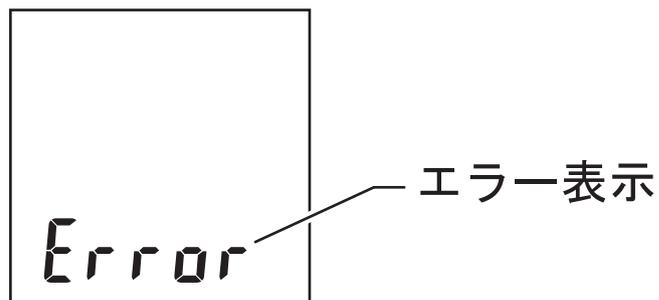
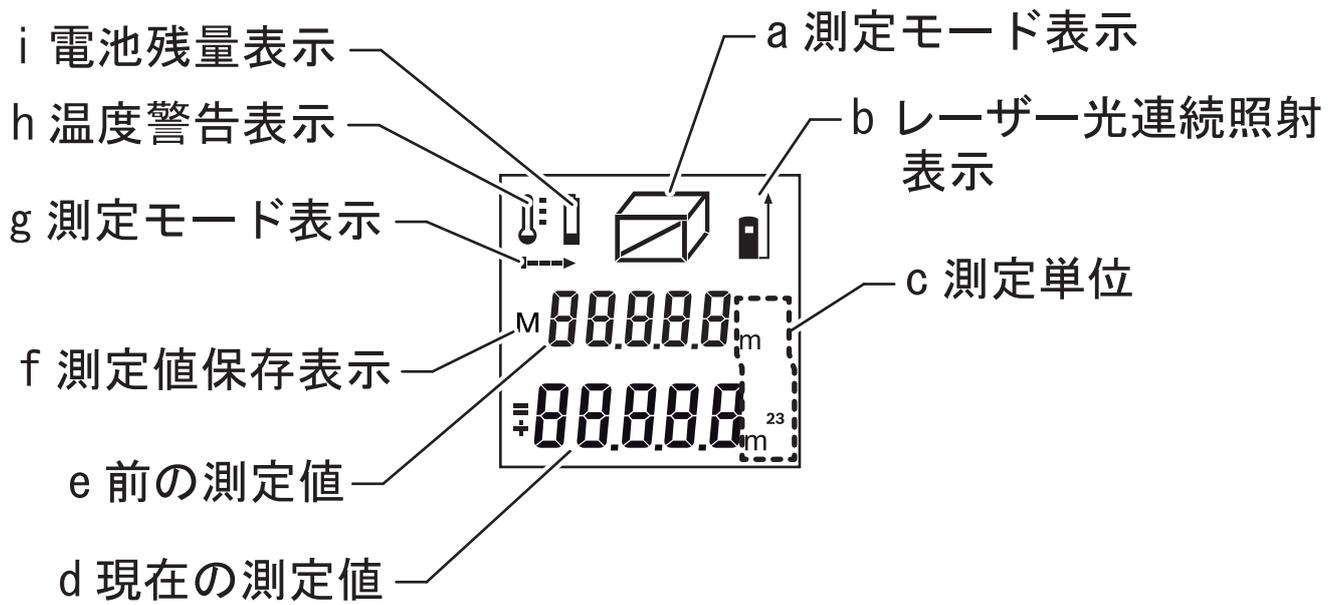
- ◆ 距離測定、面積測定、体積測定、辺測定、連続測定  
※室内での測定に適しています。

## 各部の名称



- ◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

# ディスプレイ



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

## 仕 様

型 番	GLM 40
測定可能範囲*1	0.15~40 m(標準測定時) 20 m(不利な環境下)
測定精度*2	±2.0 mm(標準測定時) ±3.0 mm(不利な環境下)
最小測定単位	1 mm
使用温度範囲	-10~+45℃
保管温度範囲	-20~+70℃
最大相対湿度	90%
レーザークラス	クラス 2
レーザーの種類	635 nm、 <1 mW
レーザー光径 (周辺温度 25℃の場合)	約 9 mm(測定距離 10 m 時) 約 36 mm(測定距離 40 m 時)
防じん・防水構造	IP54(電池収納部を除く)
質 量	0.1 kg(電池を含む)
寸法(長さ×幅×高さ)	105×41×24 mm
電 源	単 4 形アルカリ乾電池 2 本
電池寿命	約 5000 回(アルカリ乾電池使用時)
自動電源オフ(測定を行わなかった場合)	
レーザー光	約 20 秒
本 体	約 5 分

- \*1 測定可能範囲は、測定対象表面からのレーザー光の反射特性や、使用周囲の明るさにより異なります。測定対象表面からの拡散反射（鏡反射ではない）が確保され、レーザー光と周囲との明るさの差が大きい、屋内、暗い場所などでその測定能力を発揮します。強い直射日光が当たるなど、測定に不利な環境で使用する場合は、必要に応じてターゲットパネルを使用してください。
- \*2 測定精度は、測定に不利な環境下（強い太陽光の下や反射の弱い測定対象表面の場合など）では、 $\pm 0.15\text{mm/m}$ 、また好環境下でも $\pm 0.05\text{mm/m}$ 精度が悪くなることがあります。

お客様のレーザー距離計のシリアルナンバーは、銘板に記載されています。（7 ページ「各部の名称」参照）

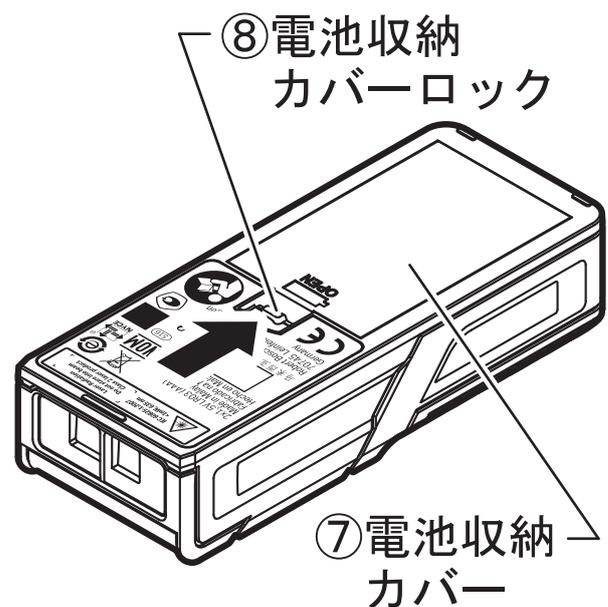
# 使い方

## 作業前の準備をする

### ● 電池を取り付ける・取り外す

#### 取り付け

1. 電池収納カバーロック⑧を矢印の方向に押し、電池収納カバー⑦を取り外します。

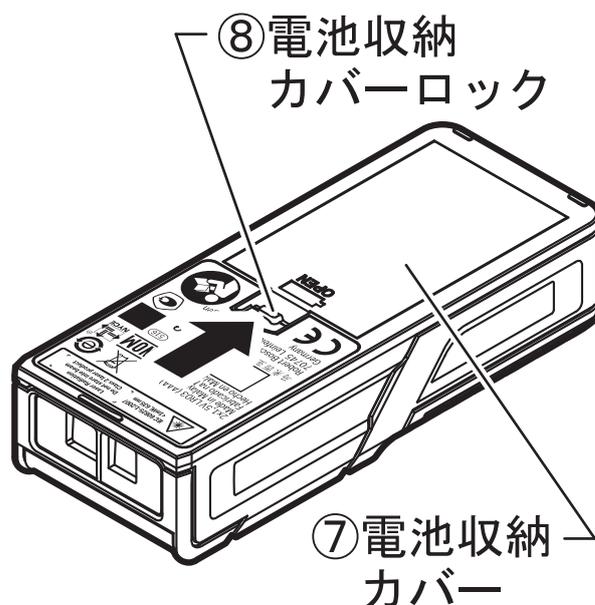


2. 電池収納部内の表示に従い、電池の向きに注意して電池を取り付けます。
  - ☞ アルカリ乾電池を使用してください。
  - ☞ 電池を交換するときは、常に新しい電池を2本セットで交換してください。この際、メーカーおよび容量の異なる電池を使用しないでください。
  - ☞ 付属されている電池は作動テスト用です。
3. 電池収納カバー⑦のツメを本体の凹部に差し込み、電池収納カバー⑦を上から押し込んで取り付けます。“カチッ”と音がするまで押し込んでください。

- ☞ 長時間にわたって本機をご使用にならない場合は、本体から電池を取り外してください。長時間にわたって放置すると、電池の腐食および自然放電につながります。
- ☞ 電池残量表示gが点灯開始してから、約100回の測定ができます。
- ☞ 電池残量表示gが点滅したら、電池を交換してください。

## 取り外し

1. 電池収納カバーロック⑧を矢印の方向に押し、電池収納カバー⑦を取り外します。



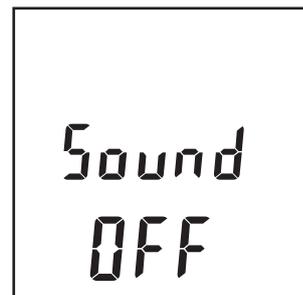
2. 電池を取り外します。
3. 電池収納カバー⑦のツメを本体の凹部に差し込み、電池収納カバー⑦を上から押し込んで取り付けます。

## ● 操作音（シグナル音）を設定する

初期の設定は音が鳴る状態になっています。

1. 電源が“OFF”になっていることを確認します。  
“OFF”になっていないときは、“OFF”にしてください。

2. ディスプレイ③に“Sound OFF”が表示されるまで、「測定スタートボタン②」を長押しします。



“Sound OFF”が表示されたら、「測定スタートボタン②」から指を離します。

「測定スタートボタン②」から指を離すと、音が鳴らない状態で、自動的に電源が“ON”になります。

再度音が鳴る状態にしたいときは、一度電源を“OFF”にし、ディスプレイ③に“Sound ON”が表示されるまで、「測定スタートボタン②」を長押しします。“Sound ON”が表示されたら、「測定スタートボタン②」から指を離します。

「測定スタートボタン②」から指を離すと、音が鳴る状態で、自動的に電源が“ON”になります。

## 作業する



- ◆ レーザー光を直接のぞかないでください。
- ◆ レーザー光が他人や自分に向いていないことを確かめて、本機を設置してください。
- ◆ 電源を“ON”にしたまま、放置しないでください。



- ◆ 本機を水分や直射日光から保護してください。
- ◆ 極度に温度の高いまたは低い環境、極度に温度変化のある場所では使用しないでください。車の中などに長時間放置しないでください。周囲温度が急激に変化した場合、本機を周囲温度に順応させてからスイッチを入れてください。極度に高いまたは低い温度、または極度な温度変化は精度を低下させることがあります。
- ◆ 本機に強度な衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。精度を低下させることがあります。

 測定するときは、受光レンズ⑩およびレーザー出力部⑪に何も被さっていないことを確認してください。

 測定中はレーザー距離計を動かさないでください。(連続モードは除く)

このため、レーザー距離計はできるだけ測定点上にあてるようにしてください。

 測定はレーザー光の中心が対象になります。これは対象物に対して斜めに照準された場合も同様です。

- ☞ 測定範囲は、使用環境の明暗度および照準対象面からの反射特性により異なります。日光照射の強い屋外で作業を行う際には、レーザーメタネおよびターゲットパネルを使用するか、照準対象面に影をあてるとレーザー光が見やすくなります。
- ☞ 透明な表面（ガラス、水面など）および鏡表面（磨かれた金属、ガラスなど）を対象物にして測定を行った場合、正しく測定されないことがあります。  
同様に穴があいている表面や、凹凸のある表面、温度差のある空気層、間接的な反射光の受光などが測定誤差の原因となることがあります。これらの現象は物理的原因によるものであり、本機でのお取り扱いによりこれらの問題を解消することはできません。
- ☞ 本機に強度な衝撃を与えてしまったときは、精度チェックを行うことをお勧めします。

# 1 電源を入れる

## スイッチの ON/OFF

スイッチ ON : 「電源/クリアボタン⑥①」または「測定スタートボタン②③」を押す。

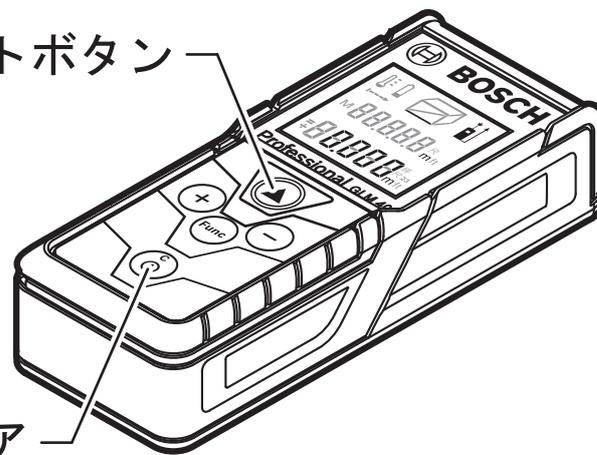
「電源/クリアボタン⑥①」で電源を入れた場合は、レーザー光は照射されません。

「測定スタートボタン②③」で電源を入れた場合には、レーザー光が照射されます。

スイッチ OFF : 「電源/クリアボタン⑥①」を約 2~3 秒間押す。

 連続測定は、5分経過すると自動的に電源が“OFF”になります。

②測定スタートボタン



⑥電源/クリア  
ボタン

## 2 測定モードを選択する

測定モードは、“距離測定モード” “連続測定モード” “面積測定モード” “体積測定モード” “辺測定モード” の5つから選択できます。

電源を入れた直後は、“距離測定モード” が選択されています。一度任意の測定モードに設定した後は、モードを変更するか電源を切らない限り、設定したモードのままで測定されます。

### 距離測定モード

距離を測定したいときに選択します。

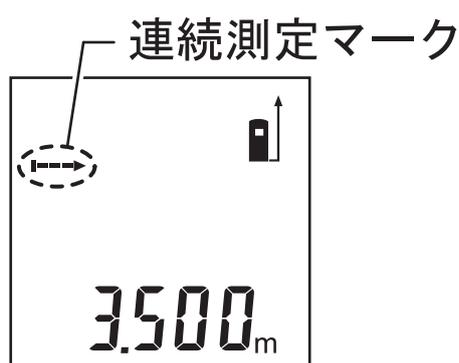
ディスプレイ③に距離測定マーク“ — ”が表示されるまで「モード切り替えボタン⑤ (Func)」を繰り返し押しします。



### 連続測定モード

照準点を基準に、距離を測定したいときに選択します。

ディスプレイ③に連続測定マーク“ ↔ ”が表示されるまで、「モード切り替えボタン⑤ (Func)」を繰り返し押しします。



## 面積測定モード

面積を測定したいときに選択します。

ディスプレイ③に面積測定マーク“”が表示されるまで「モード切り替えボタン⑤()」を繰り返し押しします。



## 体積測定モード

体積を測定したいときに選択します。

ディスプレイ③に体積測定マーク“”が表示されるまで「モード切り替えボタン⑤()」を繰り返し押しします。



## 辺測定モード

間接的に長さを算出したいときに選択します。

ディスプレイ③に辺測定マーク“”が表示されるまで、「モード切り替えボタン⑤()」を繰り返し押しします。



### 3 測定する



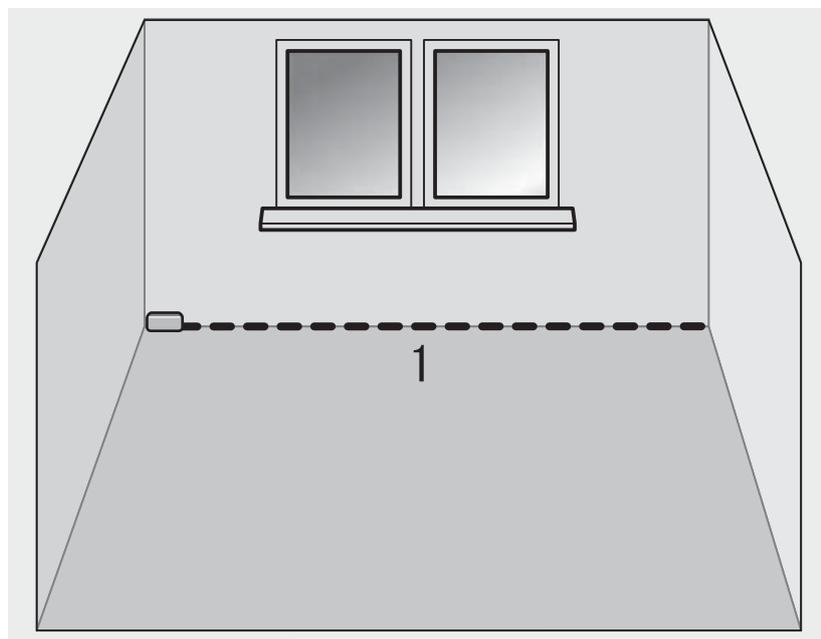
#### 警告

◆ レーザー出力部⑪が他人や自分に向いていないことを確かめてから、レーザー光を照射させてください。

- ☞ 測定基準点は、本体の後方端部です。
- ☞ 照射後、約 20 秒以上測定を行わないと、レーザー光は自動的に切れます。  
切れてしまったときは、再度「測定スタートボタン②(▲)」を押すと照射されます。
- ☞ 電池の消耗を防ぐため、最後の測定から 10 秒以上操作しないと、ディスプレイ③の表示が薄暗くなります。その後 30 秒以上操作しないと、ディスプレイ③は消灯します。  
いずれかのボタンを操作すると、ディスプレイ③は点灯します。
- ☞ 測定値の加算・減算は、距離モードでのみ可能です。  
距離モード以外で「加算ボタン①(+)」または「減算ボタン④(-)」を押すと、エラー音が鳴ります。

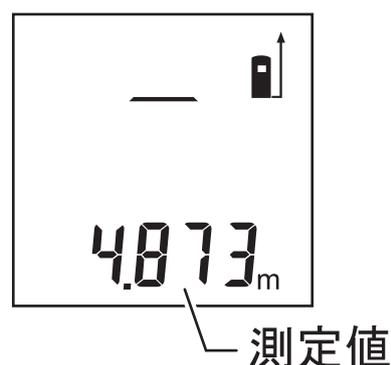
## 距離を測定する

距離を求めます。



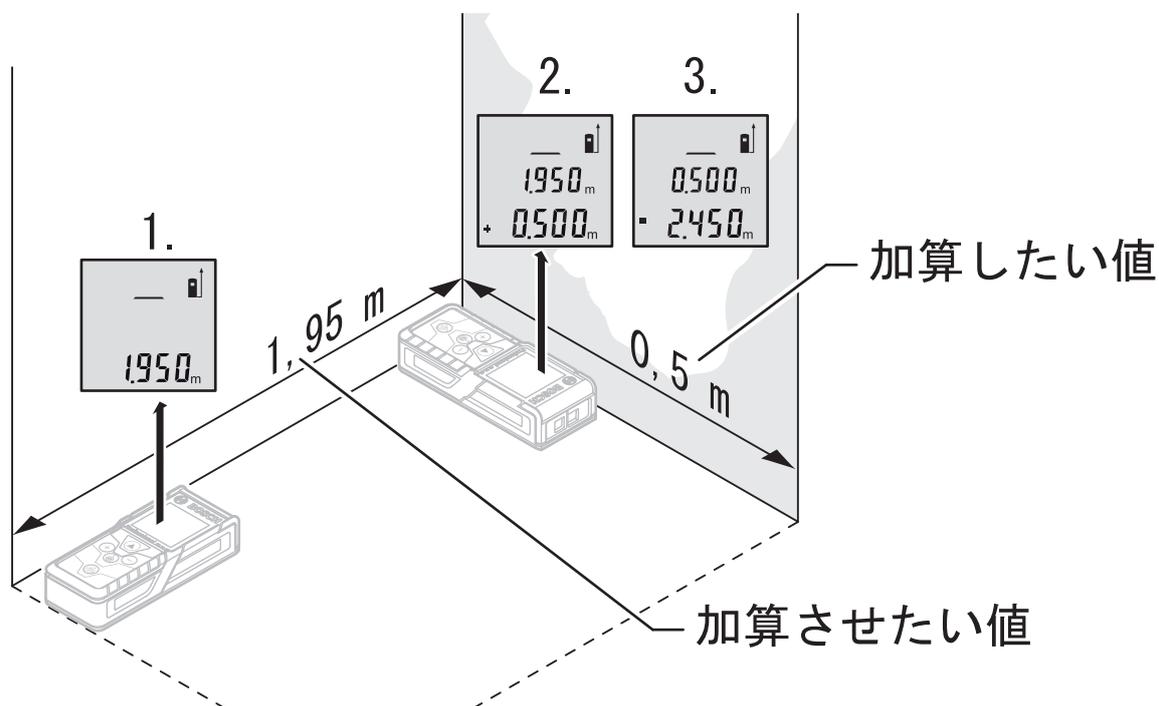
1. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、レーザー光を照射させます。  
レーザーが照射されると、ディスプレイ③のレーザー光連続照射表示bが点滅表示されます。
2. レーザー光を目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して測定します。  
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

測定が完了すると“ピッ”と音が鳴り、測定値がディスプレイ③の現在の測定値dに表示されます。

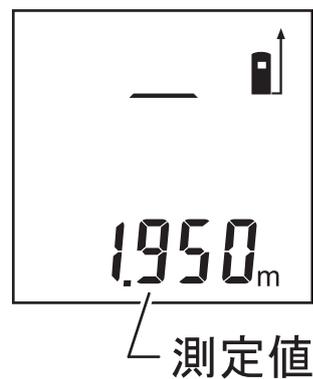


## 測定値の加算

測定値+測定値の加算が可能です。

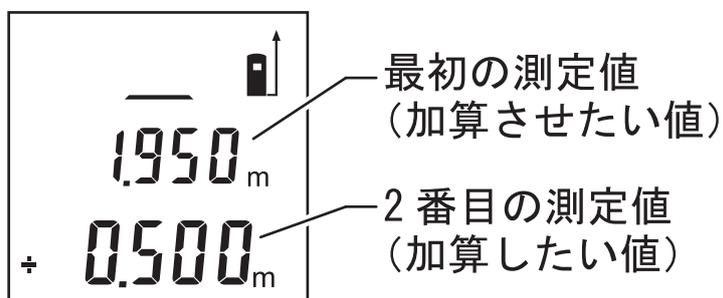


1. 加算させたい値を測定します。  
測定値がディスプレイ③の現在の測定値 d に表示されます。

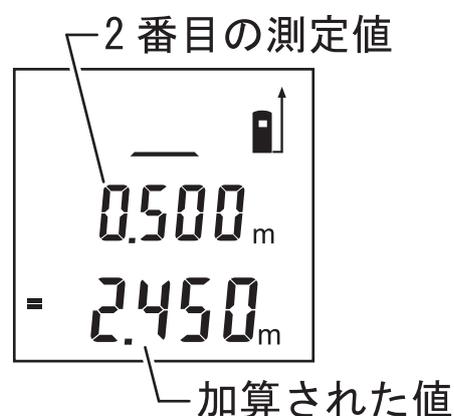


2. 「加算ボタン①⊕」を押します。  
ディスプレイ③に“+”が表示されます。

3. 加算したい値を測定します。  
測定値がディスプレイ③の現在の測定値 d に表示されます。最初の測定値は、前の測定値 e に表示されます。



4. 「加算ボタン①(+)」を押します。  
加算された値がディスプレイ③の現在の測定値 d に表示されます。  
2 番目の測定値は、前の測定値 e に表示されます。



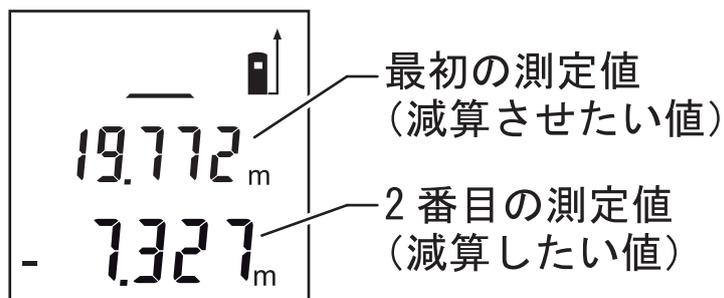
## 測定値の減算

測定値－測定値の減算が可能です。

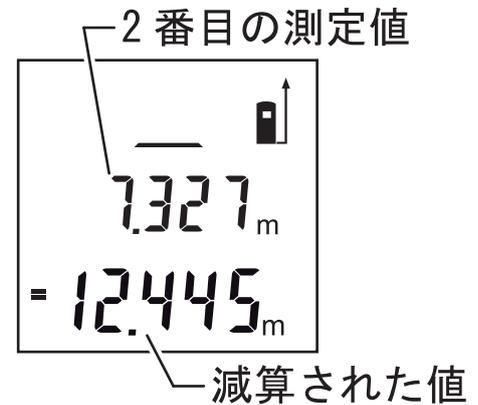
1. 減算させたい値を測定します。  
測定値がディスプレイ③の現在の測定値 d に表示されます。



2. 「減算ボタン④(⊖)」を押します。  
ディスプレイ③に “-” が表示されます。
3. 減算したい値を測定します。  
測定値がディスプレイ③の現在の測定値 d に表示されます。最初の測定値は、前の測定値 e に表示されます。



4. 「減算ボタン④(⊖)」を押します。  
減算された値がディスプレイ③の現在の測定値 d に表示されます。  
2 番目の測定値は、前の測定値 e に表示されます。

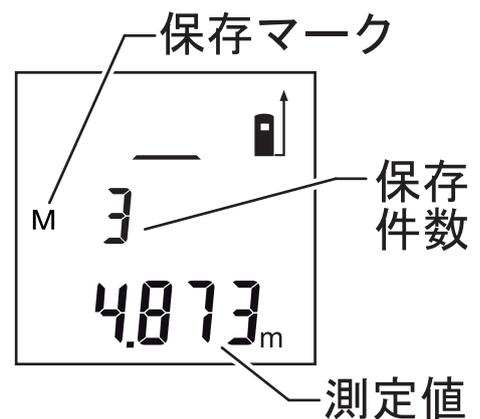


## 測定値の保存

最大 10 件の測定値が保存できます。  
保存された測定値が 10 件になると、1 件目に保存された値が消去され、最新の 10 件が保存されます。

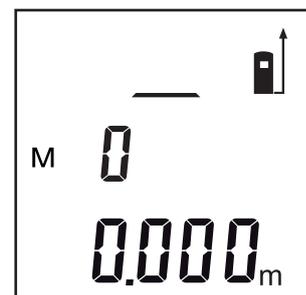
1. ディスプレイ③に保存マーク“M”が表示されるまで、「モード切り替えボタン⑤(Func)」を繰り返し押します。
2. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、レーザー光を照射させます。  
レーザー光が照射されると、ディスプレイ③のレーザー光連続照射表示 b が点滅表示されます。
3. レーザー光を目標面に当てます。

4. 「測定スタートボタン②  
▲」を押して、測定します。  
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。  
測定が完了すると“ピッ”と音が鳴り、測定値がディスプレイ③の現在の測定値dに表示されます。  
保存マーク“M”の横には、測定値の保存件数が表示されます。



現在表示されている測定値よりも前に保存した値を確認したいときは、「加算ボタン①⊕」を押します。押す度に、1件ずつ前の値に表示が変わります。  
現在表示されている測定値よりも後に保存した値を確認したいときは、「減算ボタン④⊖」を押します。押す度に、1件ずつ後の値に表示が変わります。

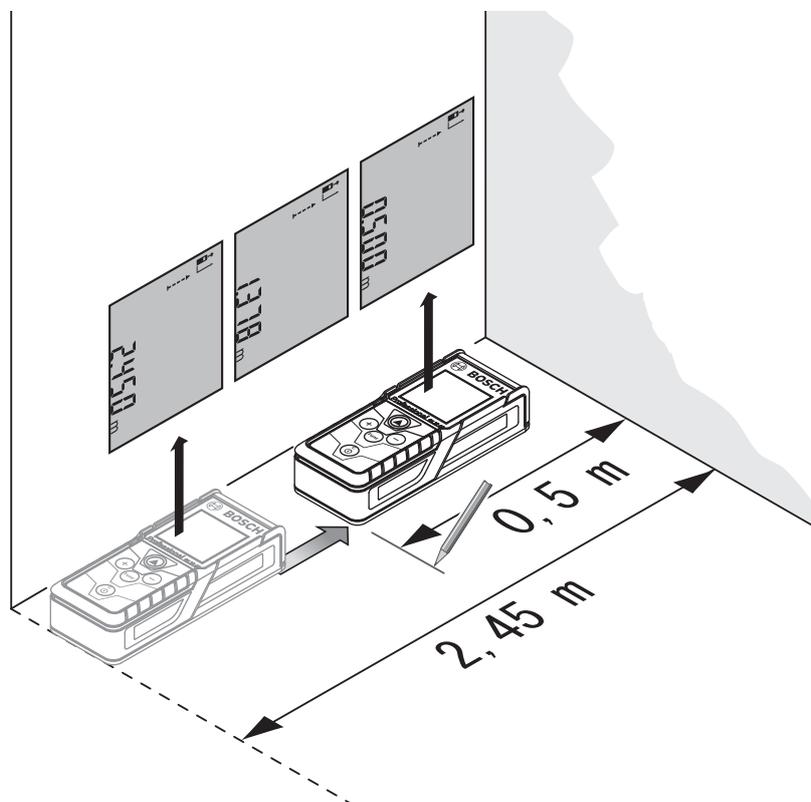
測定値が保存されていないとき、保存マーク“M”の横には「0」と表示され、現在の測定値dには「0.000」と表示されます。



保存した値を削除したいときは、「電源/クリアボタン⑥  
ⓐ」を押します。

## 連続測定する

照準点を基準としながら距離を測ります。  
連続測定は、約5分間測定し続けます。

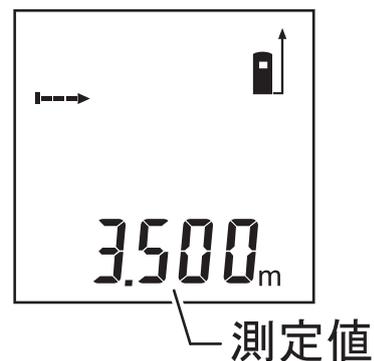


1. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、レーザー光を照射させます。  
レーザーが照射されると、ディスプレイ③のレーザー光連続照射表示bが点滅表示されます。

## 2. レーザー光を目標面に当てます。

測定値は 0.5 秒ごとに更新されます。ただし、測定に不利な環境下では、更新に最大 4 秒掛かります。

ディスプレイ③の現在の測定値 d に希望する距離が表示されるまで、本機を移動させてください。



☞ 連続測定を中断したいときは、「測定スタートボタン②(▲)」を押してください。

レーザー光が切れ、その時点での測定値がディスプレイ③に表示されます。

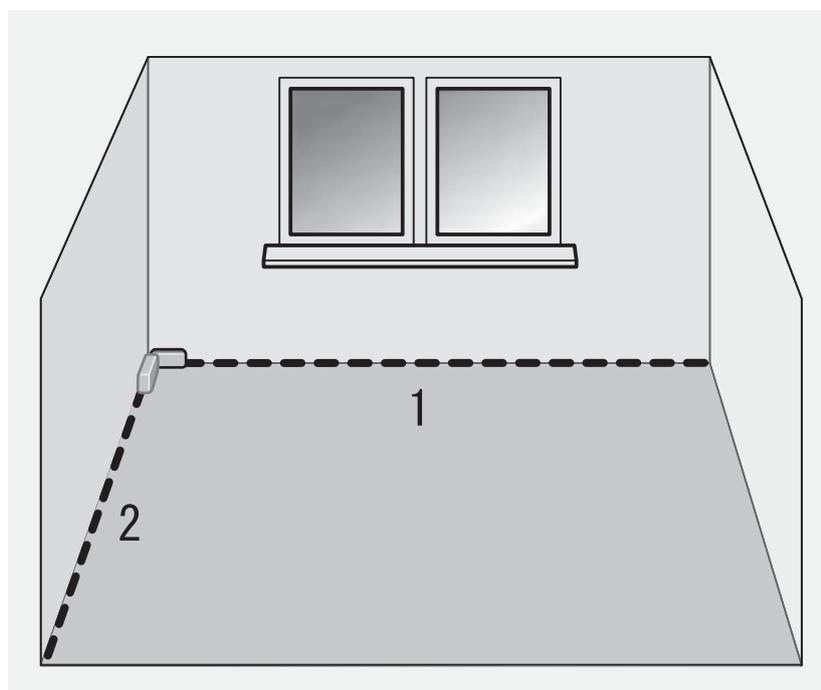
再度、「測定スタートボタン②(▲)」を押すと、連続測定を新たに開始します。

☞ 連続測定は、5 分後自動的に解除されます。

自動的に解除された場合は、最終の測定値がディスプレイ③に表示されたままになります。

## 面積を測定する

長さと幅を測定して面積を求めます。



☞ ディスプレイ③に面積測定マーク “” が表示されていることを確認してください。

1. 「測定スタートボタン②」を押して、レーザー光を照射させます。  
レーザーが照射されると、ディスプレイ③のレーザー光連続照射表示bが点滅表示されます。
2. レーザー光を長さの目標面に当てます。

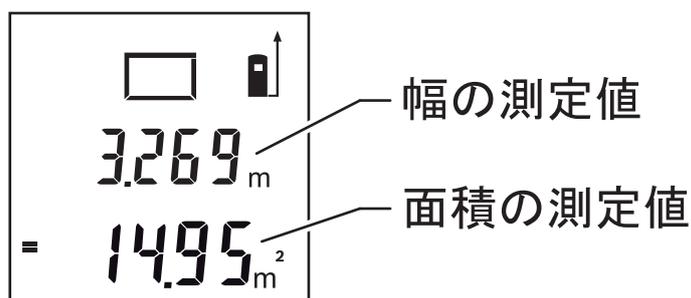
3. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して長さを測定します。

測定が完了すると“ピッ”と音が鳴り、長さの測定値がディスプレイ③の現在の測定値 d に表示されます。



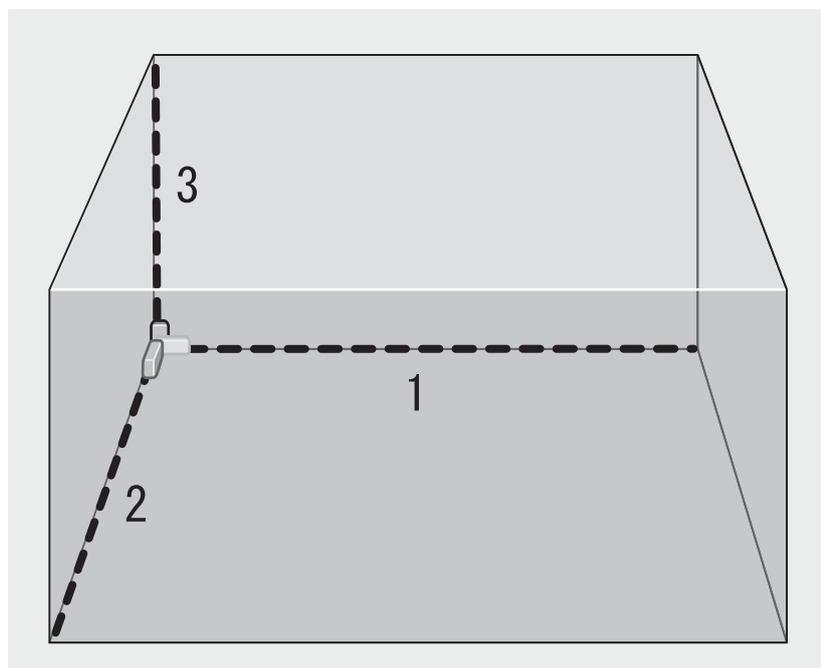
4. 続けて、レーザー光を幅の目標面に当てます。  
☞ 長さの測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。
5. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して幅を測定します。  
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

測定が完了すると“ピッ”と音が鳴り、ディスプレイ③の現在の測定値 d に面積の測定値が表示されます。幅の測定値は、前の測定値 e に表示されます。



## 体積を測定する

長さ、幅、高さを測定して、体積を求めます。



☞ ディスプレイ③に体積測定マーク “” が表示されていることを確認してください。

1. 「測定スタートボタン②」を押して、レーザー光を照射させます。  
レーザーが照射されると、ディスプレイ③のレーザー光連続照射表示bが点滅表示されます。
2. レーザー光を長さの目標面に当てます。

3. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して長さを測定します。

測定が完了すると“ピッ”と音が鳴り、長さの測定値がディスプレイ③の現在の測定値 d に表示されます。



— 長さの測定値

4. 続けて、レーザー光を幅の目標面に当てます。  
☞ 長さの測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

5. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して幅を測定します。

測定が完了すると“ピッ”と音が鳴り、幅の測定値がディスプレイ③の現在の測定値 d に表示されます。



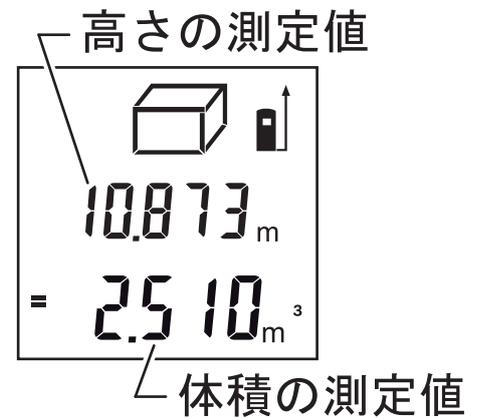
— 長さの測定値

— 幅の測定値

6. 続けて、レーザー光を高さの目標面に当てます。  
☞ 幅の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

7. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して高さを測定します。測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

測定が完了すると“ピッ”と音が鳴り、ディスプレイ③の現在の測定値 d に体積の測定値が表示されます。高さの測定値は、前の測定値 e に表示されます。



## 辺測定する

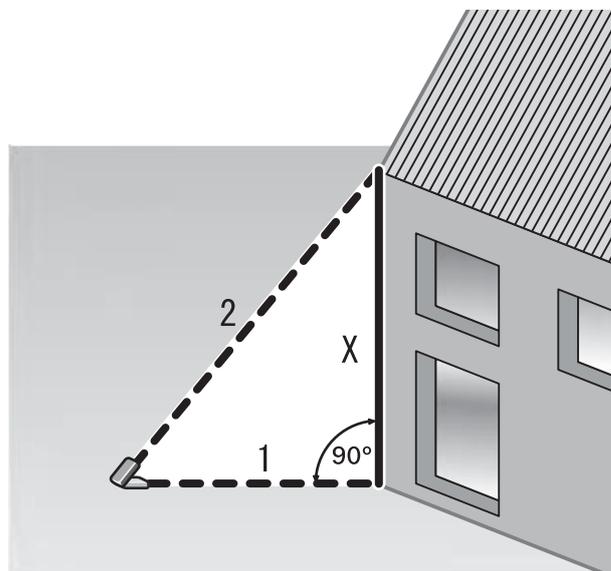
間接的に長さを算出します。

正確な測定結果を得るためには、レーザー光と求めようとする距離が、完全に直角を成す必要があります。(三平方の定理)

右記の例で、距離Xを求めようとした場合、辺1と辺2を測定します。

Xと辺1は直角である必要があります。

 ディスプレイ③に辺測定マーク“”が表示されていることを確認してください。



1. 「測定スタートボタン②」を押して、レーザー光を照射させます。  
レーザーが照射されると、ディスプレイ③のレーザー光連続照射表示bが点滅表示されます。
2. レーザー光を辺1の目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン②」を押して測定します。

測定が完了すると“ピッ”と音が鳴り、測定値がディスプレイ③の現在の測定値dに表示されます。



辺1の測定値

4. 続けて、レーザー光を辺 2 の目標面に当てます。

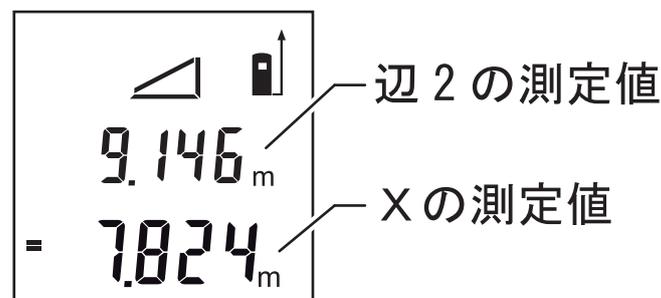
☞ 辺 1 の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

☞ 辺 1 を測定したときの測定基準位置と、同一の位置で測定してください。

測定基準位置がずれると、正確な値を得ることができません。

測定が完了すると“ピッ”と音が鳴り、X の距離がディスプレイ③の現在の測定値 d に表示されます。

辺 2 の距離は前の測定値 e に表示されます。



## 測定値を削除する

「電源/クリアボタン⑥①」を押すと、最新の測定値が削除されます。

☞ 距離測定モードでは、「電源/クリアボタン⑥①」を 1 回押すと、最新の測定値が削除され、2 回押すと測定した測定値がすべて削除されます。

☞ 「電源/クリアボタン⑥①」は、長押しすると電源が“OFF”になります。

## レーザー距離計の精度チェック

誤って落としたり、ぶつけたりして精度が気になるときは、下記の手順で精度チェックを行ってください。

 測定作業後に精度比較チェックが行えるよう、すべての測定値を記録してください。

1. 距離が変化しない屋内の場所で、3～10m 程度の距離を決めます。  
(例えば、室内幅やドアの開孔口など)  
対象物の表面は平坦で、よく反射するものにします。
2. 1 項で決めた距離を、10 回続けて測定します。  
測定値の許容誤差は、±4.0mm です。

# 困ったときは

## 故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
温度警告表示hが点滅して、測定ができない	本体が使用温度範囲（-10℃～+45℃）になっていない	本体が使用温度範囲になるまで待つ
電池残量表示gが点灯する	電池容量の低下（測定はまだ可能）	電池を交換する
電池残量表示gが点滅し、測定が行えない	電池容量が少なすぎる	電池を交換する
『ERROR』がディスプレイ③に表示される	対象物からの反射が強すぎる（鏡等）または弱すぎる（黒地の布等）  周囲が明るすぎる	ターゲットパネル（別売）を使用する
	レーザー出力部⑪または受光レンズ⑩が曇っている  （急激な使用環境温度の変化などが原因）	やわらかい布でレーザー出力部⑪または受光レンズ⑩を磨く

症 状	原 因	対 処
測定結果が不正確である	<p>測定対象物から適切な反射が得られない（水面、ガラスなど）</p> <p>レーザー出力部⑪または受光レンズ⑩に何か被さっている</p> <p>測定基準点が間違っている</p> <p>レーザー光が対象物に当たっていない</p>	<p>照準対象面に何らかの覆いをする</p> <p>レーザー出力部⑪または受光レンズ⑩を覆っている障害物を取り除く</p> <p>測定基準点を確認して、正しく選択する</p> <p>レーザー光を対象物に確実に当てる</p>
ボタンを押しても表示が変わらない、またはちがう画面が表示される	ソフトウェアのエラー	一度電池を取り外し、再度取り付ける

## 修理を依頼するときは

◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。なお、この製品には保証書がついておりますので、現品とともにご掲示ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ

<http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪 1464 番地 4

TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

## お手入れと保管

- レーザー距離計はきれいな状態を保ってください。
- レーザー距離計を水中やその他の液体中に入れしないでください。
- 汚れは湿ったやわらかい布で拭き取ってください。洗剤や溶剤は使用しないでください。
- 受光レンズ⑩は眼鏡およびカメラレンズ等の光学機器と同等に損傷を受けやすい部品です。特に慎重にお取り扱いください。
- レンズのほこりは、吹き飛ばしてください。
- レンズには指で触れないでください。

## 廃 棄

本機の廃棄処分は各地域の行政が指導する方法に従って適切に処分してください。

本機を不適切に廃棄処分すると、以下のような問題が起きる恐れがあります。

- プラスチック部品を燃やすと、有毒ガスが発生し、人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 電池が損傷したり、加熱され爆発したりすると、毒物の発生、火傷、腐食、火事あるいは環境汚染の原因となることがあります。
- 本機を無責任に廃棄処分すると、製品知識の無い人が規定を守らずに使用する恐れがあります。そのため自分自身だけでなく第三者も重症を負ったり、環境汚染を起こすことがあります。